

おはなしたい えがお の活動

概要：平成 24 年 1 月より「ママの会」という団体名で読書ボランティアが発足した。同年 7 月までは月に一度水曜日、1 年生から 3 年生を対象に読み聞かせをしていたが、その後会員が増えたため、9 月より曜日を変更し火曜日に、10 月より対象を 1 年生から 6 年生に広げて読み聞かせを行っている。なお、月に一度の頻度は変わらない。

会員：1 年生から 6 年生及び卒業生の保護者で構成され、総勢 17 名になる。発足当時は 10 名で、会員募集の宣伝や既存会員からの誘いもあって、現在の人数に至っている。仕事をしていて時間の融通が難しいという人もいるのだが、楽しんで、無理なく活動できるように柔軟に対応することを心がけている。増員はあったが、読み聞かせ対象を全学年に広げたこともあり、人数の面ではまだ補充が必要と感じる。急な欠員にも対応できるよう、引き続き会員を募っていきたい。

活動：8 時 25 分～8 時 35 分の朝読書の時間に絵本の読み聞かせをすることが主な内容である。10 分程しか時間を与えられていないのだが、それぞれの会員がこれを読んでほしいという思い入れのある本を選んでくるので、確実に子どもたちの中に読み聞かせの記憶が残っている。実際に図書館に来て、ママの会で読んでもらった本を探してほしいと頼みにくる子どももいる。



西小まつりでの発表

平成 24 年 11 月 16 日の西小まつりで、ママの会の出し物として始めて全校の前で『ひまわりのおか』を大型スクリーンを使って読み聞かせを行った。それ以来、平成 26 年度を除き毎年読み聞かせを行っている。平成 25 年度は『つみきのいえ』、平成 27 年度は『山梨の伝説』より「ケツあぶりの幸えんぼう」と『読みがたり山梨のむかし話』から「おんらんばん」の 2 つの話を、平成 28 年度は『山縣大貳ものがたり』、そして今年度は『シンデレラ』を甲州弁で読み聞かせを行った。「感動で涙が出た」、「温かい気持ちになった」「外国の話をおもしろかった」等の反響があり、会員たちにも達成感や充足感があり、西小まつりでの読み聞かせは意義のあるものだった。今後も可能な限り継続していきたいと考えている。